

読影支援システム

1 調達物品の名称

読影支援システム 一式

2 構成要件

2-1 読影支援システムは、以下の要件を満たしていること。応札時点で薬機取得済みの機能であること。

2-1-1 読影支援システムは、撮影装置コンソールとは別筐体のサーバークライアント型システムであり、専用のクライアントPCを3台用意すること。

2-1-2 読影支援システムサーバ本体のメモリは、128GB以上であること。

2-1-3 読影支援システムサーバ本体のディスク容量は15TB以上であること。

2-1-4 既設読影支援システムのサーバに含まれる各種解析アプリケーションのライセンスを引き継ぎ、継続して利用可能なシステムを構築すること。

対応ができない場合には、次の機能を有する各種アプリケーションの導入を行い、利用可能なシステムの構築を行うこと。

患者位置決め支援機能、手動輪郭抽出、自動輪郭抽出、シネマティックVR画像表示機能、
拡散テンソル画像解析、MR動態特性解析、MRスペクトロスコピー解析SVS (Single Voxel Spectroscopy) 用、
MRSpectroscopy評価のdata出力、MRSpectroscopy評価の拡張機能、

MRスペクトロスコピー解析CSI (Chemical Shift Imaging) 用、MR脳血流_ペナンブラ解析、

MR脳血流 (パーフュージョン) 解析、ファンクショナルMR結果表示、MR用基本機能、

乳房MR用基本機能、マルチモダリティ (CT、PET、SPECT、MR) 向け同時表示、

核医学用自動セグメンテーション (および計測)、CT用自動セグメンテーション (および計測)、

CT用脳血流 (パーフュージョン) 解析、CT肺結節自動解析、CT肋骨椎体自動ラベリング

2-1-5 読影支援システムは、各種アプリケーションを自動実行する条件を予め設定することができ、データの処理、自動レイアウト機能が適用できること。

2-1-6 読影支援システムは、2D、MPR、MPR thick、MPR/MPR fusion、MIP、任意厚のMIP thin、MinIP、VRTの画像表示ができること。

2-1-7 読影支援として、体幹部のCT検査において自動椎体ラベリング、自動肋骨ラベリングの処理が行えること。

3 納入場所

川崎市川崎区新川通12-1

川崎市立川崎病院 1階 CPU室

4 納入期限

令和8年9月30日